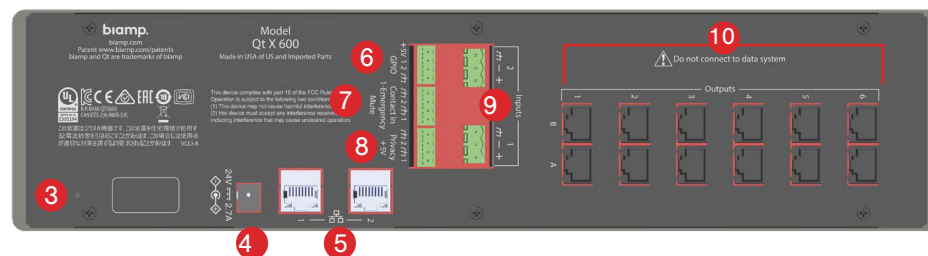


設置 & 操作マニュアル

Qt X 300/300D & Qt X 600/600D



Qt X 300/300D または Qt X 600/600D フロントパネル



Qt X 300/300D または Qt X 600/600D リアパネル

(図は Qt X 600 を使用)

1. LCD ディスプレイ

システムのステータスとパラメーターが表示されます。デバイスの現在の IP アドレスやネットワークマスク、動作モード（未構成、構成済み、ファームウェアアップデートなど）、故障があるかを確認できます。

2. 機能 / ナビゲーションボタン

このボタンを使い、LCD ディスプレイに表示される情報を操作します。

3. ファクトリーリセットボタン

ピンを使ってボタンを押し込み、10 秒間長押しします。これによりユニットが工場出荷状態にリセットされ、全ての構成が削除されデバイスが再起動します。



警告：ファクトリーリセットをすると、デバイスは構成されていない状態に戻り、関連する入出力デバイスの設定もローカルメモリーから削除されます。

4. 電源端子

外付け 24V 90W 電源サプライ（同梱）用の端子です。



重要：電源を抜き差しする際は、必ず壁面コンセント側の電源端子で行ってください。

5. ネットワークコントロール / メディアポート × 2

AVB と Dante メディアストリーム対応の RJ45 ギガビットイーサネットポート端子です。（Dante は 300D/600D モデルにのみ対応）左（1）のポートは、デュアルケーブルモード時はデフォルトでメディアポートになり、シングルケーブルモード時はコントロールポートとしてもメディアポートとしても使用できます。右（2）のポートは、デュアルケーブル時はデフォルトでコントロールポートになり、シングルケーブルモード時は使用しません。

6. GPIO (4 ピンロジック I/O) × 2 ポート

ゾーンのミュート、ページング、または録音放送を作動します。

7. Contact in 1-Emergency Mute (4 ピンコンタクトクローザー) × 2 入力

火災や非常事態、またはページングが必要な際、ゾーンまたはシステム内のオーディオとサウンドマスキングをミュートします。これらの入力、火災報知盤はポート 1 に、あるいはページングシステム（ポート 2 - プッシュ・トゥ・トークに設定）に接続してください。

8. Privacy (4 ピンプライバシーライト出力) × 2 出力

特定のゾーンでサウンドマスキングが有効になっていることを示すプライバシーライトパネル（2 台）を接続できます。システムの設定時に、各パネルを異なるゾーンに割り当てることが可能です（ソフトウェアまたは Web インターフェースで設定）。

9. Audio Inputs (4 ピン MIC/Line オーディオ入力) × 2 入力

音楽プレーヤーやページングコントローラーなど外部オーディオソースを接続します。これにより、設定されたゾーン全体にネットワークオーディオを分配できます。

10. Outputs 出力

Qt X 300/300D は 3 出力、Qt X 600/600D は 6 出力のサウンドマスキングおよびオーディオ出力に対応しています。CAT5e ケーブルを使用し、この RJ45 出力端子（それぞれ 6 ポートおよび 12 ポート）とエミッターを接続します。各出力には A&B の 2 系統のケーブル接続が可能で、出力あたり最大でエミッター総数の半分まで接続できます。A&B の単一出力内に標準エミッターとアクティブエミッターの両方を混在させることはできません。いずれか同じ種類を使用する必要があります。また、両系統の設定はすべて一致します。

設置

Qt X 300/300D および Qt X 600/600D は、同梱のハードウェアを使用して壁面に設置できます。ラックに設置する場合は、オプションのラックマウントアクセサリーキットを使用してください

注意：Qt X を安全かつ確実に設置するには、施工者の判断が重要になります。必要に応じて、地域の建築・安全基準を確認して設置を行ってください。

注意：Qt X の設置は、必ずオーディオおよびネットワークの配線が完了した後に行ってください。エミッターは、取り付け前にサウンドマスキングオーディオを有効にし、動作確認を行ってください。

壁面設置手順：

1. ウォールマウントを設置位置に当て、穴の位置に印をつけます。Qt X 本体は、壁面設置およびケーブル配線時に前方へ開く構造になっています。前方へ開くには、本体両側のネジを緩め、上部のネジを外してから前方に回転させます（図 1 参照）。

重要：壁面ブラケットをテンプレートとして使用して穴を開ける場合は、Qt X 本体をブラケットから取り外し、コネクターやポートに粉塵が入らないようにしてください。

2. 石膏ボード（ドライウォール / シートロック）に取り付ける場合、1/4" ドリルビットで穴を開け、プラスチック製のアンカーを挿入してください。
3. プラスチックアンカーにネジをねじ込み、ブラケットがネジの頭に掛かる程度の余裕を残します。ブラケットをネジの頭に合わせてはめ込み、下方向にスライドさせて固定します。ネジを締めてブラケットを壁にしっかり固定してください。

注意：Qt X 本体を一度ブラケットから取り外した場合は、取り外したネジを使用し、再びブラケットに固定してください。本体を下向きに回転させると、取り付けネジを締めやすくなります。

4. 必要な配線をすべて接続し、Qt X 本体を上向きに回転させ、動作位置に移動してロックします。側面のネジを締めて、ブラケットにしっかり固定してください（図 2 参照）。

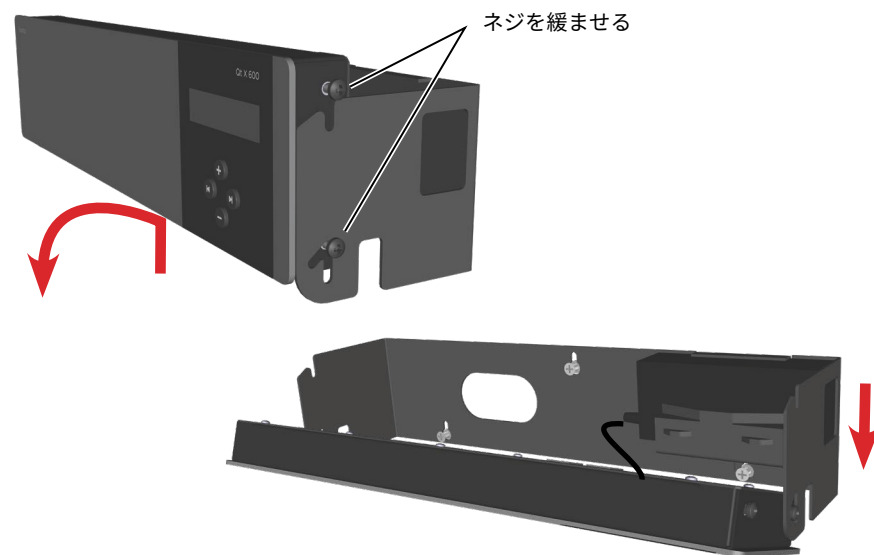


図 1. 本体とウォールブラケット



図 2. 本体を正しく設置した状態